

新年度を迎え、一つの区切りとして色々なことが始動する時期が参りました。
会員の皆様も、気持ちを新たに今後の日常業務等に臨まれることと思います。

コロナ禍を含む「負」をどう捉えるか

さて、コロナ禍が国内的にも峠を越え、来月には感染症分類も5類へ移行する方針が政府から打ち出されています。丸3年以上も続くコロナ禍の経験は、負の側面ばかりに目を奪われがちですが、逆境の中でも新たな手がないか考え続ける視点が強く求められます。

実際、人流の急減による物流の増加、巣籠り需要によるゲーム産業等の押し上げ、対面営業からリモートへの移行や、都市部にある企業の本社機能の軽量化等、対応策も様々です。

環境変化への対応として、企業・個人が逆境をしっかりと受け止めながらも、将来へ向けて新しい展望を開いていく姿勢が大切かと改めて思います。

コロナ禍以外でも、事業環境等には難題が山積みであり、ウクライナ戦争に端を発した国防・食糧・エネルギー等の安全保障問題、円安による燃料代や物価の高騰、出生率の急減他、労働者不足の逼迫は、特に物流業界における「2024年問題」として頭の痛い問題です。

国全体では、制度疲労を起こしている今までのやり方を再考すべき時期でしょう。

6月の通常総会の開催へ向けて

当倶楽部も諸環境激変の中、新たなスタートとして新年度の事業計画を検討しています。考える視点としては、「明るいシステム」及び認証企業の外部への認知拡大、認証企業間の交流拡大及び会員同士の交流活発化等を念頭に、当倶楽部及びこれらのステークホルダーの存在感を更に高めたいと考えています。

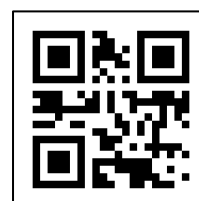
< 4月の送付物 >

- ① 日本一明るい経済新聞 4月号
- ② アルキメトロ 2023春号
- ③ 年会費ご納入のお願い (該当者のみ)

明るいシステム倶楽部

ホームページへ

QRコード



< 4月の活動予定 >

4/1(土) 気楽な ZOOM サロン(29)	当倶楽部会員専用の交流の場です	20:00~21:30
4/19(水) 役員会議(34)	「令和5年度の事業活動計画の検討」	13:30~14:45
4/19(水) 明るいシステム検討会議(17)	「AKS 認証企業への活動状況ほか」	15:00~16:15

AKS 市民大学 (ZOOM 形式)

4/14(金) 菊池教室(27)	「感性を育む和学講座」	20:00~21:30
4/22(土) 宮崎教室(31)	「あっ！と驚く問題解決法」	20:00~21:30
4/26(水) 柴原・松居教室(20)	「みんなで考える明るい職場」	20:00~21:30

「明るく・より良く生きるための新・終活＝生前整理」と「法律的サポート」

黒田 能弘(くろだ・よしひろ)

巷では、「人生100年時代」と言われ、リスクリング（学び直し）なんぞということが喧伝されています。高齢化社会・アフターコロナ状況下、いままでの考え方・価値観が大きく変化することを認識するようになりました。

そんな中、唐突ですが、還暦以降の「生き方・過ごし方・逝き方」について、ひとり・一人が考え、学び直しが大事かと思慮します。高齢化社会の真っ只中にいるわたしたちが自らのこれからについて考えることは、次世代の人たちへの遺言かと思えます。

4月は、若い人たちの新学期です。わたしたち高齢者の新学期ともしたいと考えます。

◇わたしが62歳からNPO法人を発足し、18年間多くの高齢者とお会いし、法律的サポートをしてきました経験を皆さまにお伝えし、これから起こりうるであろう「生・老・病」と、必ずや起こりうる「死」についての「心がけ・心構え」といったこと。

生前に何をどう準備・整理しておくことが大事なのか？そして、「死」に向かってより良く生きるとはどういうことか？これらについてご一緒に学びたいと思います。

◇そして、「介護保険法・成年後見制度」や「自筆遺言・遺言公正証書」と「死後事務の委任契約」、「成年後見人・身元保証人・身元引受人」といった法律的知識を学習し、武装しておかれるのが大事と考え、この紙面をお借りして学習したいと考えた次第です。

当然ながら、ひとり・一人の人生です。決して、押しつけるものではなく、議論する場でもありません。しかしながら、これからの人生で起こりうる問題・課題についてお元気なうちに良く考慮し、選択肢を増やしておくことは大事なことを考えています。

◇例えば、葬式はするのか、しないのか？「遺言」を書くのか、書かないのか？「遺品整理」はどうするのか？墓はどうするのか？「おひとり様の急増」とは何か？

「1億総孤独社会」とは何か？「地域包括支援センター」とは何か？相続や事業承継のことなどなど。そして、「配偶者との死別」、「老人性うつ病・認知症」のことや、「自らの突然の死」といった事態のことも想定しておかなければならないでしょう・・・。

とかく男性諸氏は、“女房が何とかするやろう・・・”とあって、何も考えない・何も準備しない方が多いのがわたしには気になります。ひょっとすると、伴侶の方が先に「認知症」になったり、「三途の川」をお渡りになるかもしれないではありませんか？

こうしたことを少しお話ししますと、大概の方は、“そんなことは考えたくない”とおっしゃいます。どうかこの際、リスクリング（学び直し）にチャレンジしてみようではありませんか？!

さあ、新学期の始まり始まり～～。

“いい呼吸”を広める呼吸道場 代表 兼
NPO法人高齢者・障がい者後見人の会 代表

◆西国三十三所札所巡り旅 (9) 西国 第8番札所 長谷寺
 豊山「長谷寺」(奈良県桜井市)
 本尊：十一面観世音菩薩

阿久根 芳臣

行程：大阪市内から 59 km (阪高、近畿道、南阪奈道、国道 165 号)

長谷寺は古くからの名所なのでここへは色々なルートが想定されるが、今回は高速道路利用で時間が 58 分と一番短い昔ながらの道程を示した。他にも西名阪ルートや阪高・東大阪線から真直ぐ東進し春日大社前を南進するルートも捨てがたいが、自動運転で行くとしたら標記のルートとなる。住所地こそ桜井市ではあるが大神神社(おおみわさん)を過ぎたあたりからほぼ宇陀市と思った方がよい。けっこう山の中でも駐車場代はきっちり 500 円徴収されるが、美化清掃代だと思って賑々しく支払う。拝観料は 500 円だ。

四季折々の花が境内を彩る「花の御寺」と呼ばれるこの寺は、駅も近いのでこれからの桜の季節にはワンカップを片手に電車で来るのもいいかもしれない。駅を下って初瀬川を渡ると川沿いににぎやかに約 1 キロも軒を連ねる門前町が現れ、しばらく歩くとどっしりとした風格の仁王門に至る。途中、なかなかの風情について暖簾をくぐりたくなるのは私だけかな？ ダメダメ、「今日は車だ」と自分に言い聞かせてうつむき加減に寺域に向かう。

ここは 20 年以上も前に来たことがあるが、“なんにも”変わっていないのにはビックリだ。仁王門をくぐると足下から回廊形式の登廊が、鍵の手に二度折れ曲がりながら上の本堂に続く、長さ百八間、399 段の石段だ。40 代の時に来た時と何も変わっておらず、閉口する。

本堂は東大寺の大仏殿に次ぐ大きな御堂だ。堂内にまつられる本尊・十一面観世音菩薩も高さ十メートル余りの堂々としたお姿で、日本一大きい木造仏だ。観音・地蔵の両徳を併せ持った長谷観音と呼ばれ、奈良・平安の昔から厚い信仰を集め、一時期は西国第一番札所となり、また西国霊場巡礼の根本霊場と云われてきた。近くには西国三十三所霊場巡りの創始者とされる徳道上人が開いた番外・法起院もある(詳しくはお寺のホームページで)

仁王門から続く登廊



番外・法起院



春 爛 漫

役員 高村 和義

● ふるさと切手により、全国の満開の桜を呼び寄せてみました。 ●



吉野の春・奈良県



兼六園（海石塔）・石川県



高遠の桜・長野県



八ヶ岳とさくら・山梨県



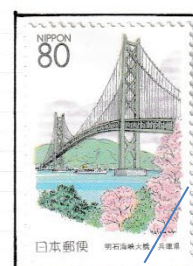
熊本城天守閣・熊本県



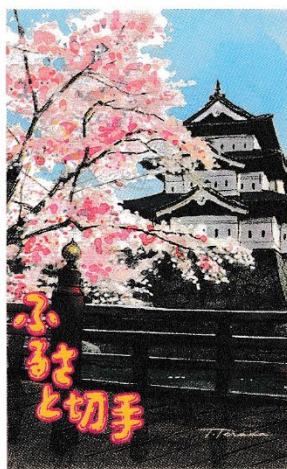
斐伊川堤防桜並木
・島根県



備中国分寺五重塔
・岡山県



明石海峡大橋・兵庫県



東北のさくら
(東北/青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島)
Special Prefecture Issue - Tohoku
Aomori, Iwate, Miyagi, Akita,
Yamagata, and Fukushima
First Day of Issue April 3, 2000



<上側> 弘前城と桜・青森県 石割桜・岩手県 桜木内川と桜・秋田県
<下側> 三春滝桜・福島県 一目千本桜・宮城県 久保桜・山形県